

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

滋賀県

行 事 名 称	第 64 回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 21 日（日）・8 時 00 分～8 時 40 分
実 施 場 所	今津ヴォーリズ資料館（滋賀県高島市今津町今津 175 番地）
主 催 者	高島市消防本部（北部消防署）・高島市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

資料館内の喫茶店店主が厨房で火災を発見。店内には利用客がおり、中には車イスを使用されている方もいると想定。駆けつけた地域住民が初期消火を行うが、鎮火せず消防署・消防団による放水を想定。

訓練の内容

喫茶店店員による火災の発見、通報、来客の避難誘導訓練。
 地域住民による初期消火（消火器・消火栓）
 消防署による避難状況確認（火災建物への進入）、放水訓練。
 消防団による放水訓練

参加者及び役割分担

地 域 住 民：避難者役、住民役に分かれ、住民役は初期消火（消火器・消火栓）。
 喫 茶 店 店 員（3 名）：初期消火、119 番通報、避難誘導。
 消 防 署：全体統括、交通規制、状況確認、放水訓練。
 消 防 団：放水訓練。
 滋賀県教育委員会（2 名）：現場立会、講評。
 高島市教育委員会（3 名）：現場立会、講評。

特に工夫した点

今津ヴォーリズ資料館は、近代建築物でコンクリート造であるため、住民・職員は火災・防火に対する意識が低かった。今回訓練場所を選ぶことで、住民・職員の防火意識の高揚に努めた。

問題点・課題

消火栓の一部（パッキン）が劣化しており、漏水が発生し水圧が確保できず消火栓による初期消火が行えなかった。このことから日常の消火設備の点検・確認が課題として浮かび上がった。

その他

